

(無断転載を禁ず)

# かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～

## 第34回かごしまグランドマスター試験 問題用紙

(午前10時00分開始 制限時間120分)

### 注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
2. 答案はすべて答案用紙に記入し、提出する。
3. 答案は答案用紙の「記入例」をよく読んでから、記入する。

令和6年1月28日

鹿児島商工会議所

《自然》

問1. 鹿児島では多くの美しい滝を見ることができる。代表的な千尋滝、大川滝、龍門滝、曾木の滝はその滝にかかる岩肌が異なり、美しい景観を醸し出していることから多くの観光客が訪れる。これらの滝にかかる行政区域名と地層の特徴について、以下の語句を入れて200字程度（160字以上、240字以内）で作成しなさい。

「火山岩」

「ホルンフェルス」

「マグマ」

【解答例】 233文字

屋久島町の千尋滝は、一枚岩のような広大な壁をつくっている花崗岩にかかっている。同じ屋久島町の大川滝は、古第三紀の深海に堆積した地層がマグマの熱によって非常に硬いホルンフェルスになった堆積岩にかかっている。始良市加治木にある龍門滝は、約80万年前に海底に堆積した地層中に貫入したマグマが冷えて固まった火山岩にかかり、柱状節理が美しい。伊佐市大口の曾木の滝は加久藤火砕流の溶結凝灰岩にかかる滝で、「東洋のナイアガラ」とも称され、滝幅210メートルは日本一とも言われている。

《歴史》

問2. 日本資本主義の発展と地方産業育成に関して次の3人をキーワードにして200字程度（160字以上、240字以内）の文章で書きなさい。

「松方正義」

「前田正名」

「加納久宜」

【解答例】 (234字)

大蔵大臣と首相を務めた松方正義は、西南戦争後のインフレを不換紙幣整理で解決。日本銀行を設立し、政府財政を健全化した。極端なデフレ政策は農業経営を圧迫、多くの離農者が大企業の賃労働者となって工業優先の資本主義発展を支えた。前田正名は農商務省にあって生糸・茶など地方在来産業育成の観点から明治17年『興行意見』を出し、農工の併進政策を主張したが受け入れられなかった。鹿児島県令となった旧一宮藩主の加納久宜は地方産業発展に生涯を捧げ「勸業知事」として旧県庁内に頌徳碑が建つ。

《文化》

問3. 2023 年末に日本復帰 70 周年を祝った奄美群島出身の昇曙夢、龍野定一、泉芳朗について 200 字程度（160 字以上、240 字以内）で説明しなさい。但し、以下の 3 つのキーワードを使用すること。

「ロシア文学」

「無処罰」

「断食」

【解答例】（219 字）

大島郡瀬戸内町出身でロシア文学者としても著名な昇曙夢は戦前、トルストイ生誕 100 年祭に国賓としてソ連に招かれている。戦後は米軍政下におかれた奄美群島の祖国復帰を呼びかけ、復帰対策全国総委員長として先頭に立った。伊仙町出身の詩人・泉芳朗は故郷で奄美大島日本復帰協議会を結成して議長に就任、120 時間断食祈願を断行した。徳之島町出身の教師・龍野定一は鹿児島、福岡、東京の旧制中学校に勤務、無処罰・出欠簿廃止など独自の教育を貫いた。

《産業経済》

問4. 今年、開業 20 周年を迎える「肥薩おれんじ鉄道」について、200 字程度（160 字以上、240 字以内）の文章で書きなさい。但し、以下の 3 つのキーワードを使用すること。

「第三セクター方式」

「貨物列車」

「観光列車」

【解答例】（234 字）

九州新幹線の部分開業に伴い J R 九州から経営移管された鹿児島本線八代～川内間の路線を運営する第三セクター方式の鉄道会社である。路線距離は J R 以外の鉄道としては九州で最も長く、本州と九州を結ぶ物流の大動脈を担い、多数の貨物列車も運行されている。開業当初から経営が難航する中、観光客等誘致強化のため、観光列車「おれんじ食堂」や貸切専用列車「おれんじカフェ」の運行、阿久根駅のリニューアルなど意欲的に取り組み、通学・通勤の足を確保しながら、観光資源としての活用を模索している。

《地域》

問5. 以下の地域に関して次の問に答えなさい。

【1】 始良市に関する文章の空欄に当てはまる語句を記入しなさい。

始良市は南北を鹿児島市と霧島市に挟まれるように位置し、鹿児島市のベッドタウンになっており、鹿児島県で唯一人口が増加している地域である。

2010（平成22）年に始良町・①加治木町・蒲生町の3町による合併で誕生した。この地域には国の登録有形文化財である①加治木町立図書館（現始良市立①加治木図書館）がある。また、「鉄炮記」の著者である②南浦文之の墓があり、国の史跡に指定されている。他にも、③椋鳩十が動物文学を書き始めた場所でもあり、③椋鳩十文学記念館も整備されている。

観光施設にも力を入れている。④蒲生八幡神社境内には日本一の大楠があり、周囲には釣りやキャンプが楽しめる自然豊かな⑤住吉池公園、露天風呂や食堂などを完備した温泉施設くすの湯も整備されている。

【2】 湧水町の紹介を、200字程度（160字以上240字以内）の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「合併」

「名水」

「芸術」

＜解答例＞（211字）

湧水町は、県内北部の内陸部にあり、平成の大合併により、2005年に吉松町と栗野町が合併して誕生した。本町は、川内川や霧島山系の西麓をなす栗野岳などに囲まれ、日本名水百選に選定された丸池湧水など、美しい自然があふれている。栗野岳の麓には2000年にオープンした霧島アートの森があり、栗野高原の美しい自然の中で国内外の優れた芸術作品に触れ親しむことができる美術館である。屋外には風景を活かした常設展示、屋内には現代美術などを紹介している。